

「白石東」スポーツで行こう!

★第22回 白石東地区室内スポレク大会

白石東地区の室内スポレク大会が、1月26日(日)に大谷地小学校で開催されました。

大会は、ミニバレーとテニポンの2種目が行われ、ミニバレーには5チーム23名が、テニポンには9名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

ミニバレーは、少年野球チームの保護者が集まってチームを作ったの参加です。5チームがリーグ戦で戦い、順位を決めました。

ミニバレーのボールは、空気が入ったビニールの玉のため、なかなか思うように飛びません。選手は悪戦苦闘しながらも、華麗なレシーブやトスがありました。また、見事なスパイクを決めると周りから歓声が沸き上がりました。

結果は、優勝が白樺MBロジャースAチーム、準優勝は大谷地第一ファイターズ、第3位は大谷地ヤングタークスAチームでした。

テニポンは、9名がメンバーを交代しながら、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスの試合を楽しみました。順位を争うことなく、毎試合、ペアが変わることで、和気あいあい親睦を深め、プレーを楽しみました。



決まるかスパイク



親睦を深めたテニポン

★第23回 白石区民室内スポレク大会

2月23日(日)に白石区体育館において、51チーム172名が参加して、白石区民室内スポレク大会が開催されました。

白石東地区からは、ミニバレーに3チーム、テニポンに5チームがエントリーし、監督を含め26名が参加しました。

ミニバレーの混合の部に出場した白石東地区の3チームは、白熱した試合でしたが、惜しくも1回戦で敗れ、敗者復活戦に臨みましたが、善戦むなしく敗退となりました。清々しい汗を流した選手の皆さんは、来年の上位進出を目標に、気持ちを新たにしていました。

テニポンでは、男子の部と混合の部に2チームずつ、女子の部に1チームが出場しました。男子の部の2チームは1回戦で敗れ、敗者復活戦で上位を目指しましたが、惜しくも敗退しました。女子の部と混合の部では、白石東チームが実力を発揮し勝ち進み、準決勝で敗れたものの、三位決定戦で勝利し、第3位となりました。

白石東地区を代表して参加されました選手の皆さんのご活躍に拍手を送ります。



開会式での白石東地区のチーム



ミニバレーに出場の白石東地区



テニポンに板垣会長も出場



選手宣誓する白石東地区の選手

白石東地区では、平成26年度も各種スポーツ大会を開催する予定でありますので、より多くの皆さんの参加をお待ちしております。

取材担当：長井

取材スタッフ 蠣崎〔まち協〕・杉浦〔町連〕・鈴木〔育成〕・川守田〔育成〕・長井〔体振〕

スタッフ募集中!

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6 白石東まちづくりセンター内
TEL: 011-862-0813 FAX: 011-862-8694 (休館：土・日・祝日)

第28号



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります!

雪であそぼう! at大谷地小学校

恒例の「雪であそぼう! at大谷地小学校」が1月9日(木)に大谷地小学校のグラウンドで開催されました。

前日の会場準備は、吹雪の中での作業となり大変でしたが、総勢30名のスタッフと3台の除雪機により、「坂すべり」の雪山や「迷路」のコースなど会場を無事に作り上げることができました。

イベント当日は、天候に恵まれ、スタッフを含めて約500名の皆さんが参加し、遊びのコーナーはどこも大盛況で子どもたちの歓声が聞こえました。

色雪遊び、雪中カルタ、迷路、雪中サッカー、坂すべり、雪中相撲など、盛りだくさんの遊びのコーナーでは、子どもたちは寒さを忘れ、楽しく遊んでいました。

最後は、参加者全員でアンパンマン体操をした後に宝探し、子どもたちは、スタッフ手作りのペンダントを雪の中から探し出し大喜びでした。楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。



アンパンマン・ジャンプ

おかげさまで、たくさんの親子、保育園や幼稚園の子どもたち、小学生の皆さんが遊びに来てくれました。また、スタッフは、青少年育成委員会、民生委員児童委員、大谷地小ミニ児童会館、札幌白樺幼稚園、町内会や各種団体の皆さん、そして学生ボランティアの皆さん(東白石中学校、白石高校、札幌商工会議所付属専門学校の学生・生徒の皆さん)にご協力していただきました。皆様に心より感謝申し上げます。

また、今回も参加募集のポスターとチラシのデザインは、札幌商工会議所付属専門学校にご協力をいただきました。また、「白石でっちな奉公」で白石東まちづくりセンターに来た東白石中学校の生徒さんに、会場案内ポスターを作成していただきました。ご協力ありがとうございました。

今年の7月には「みんなであそぼう! at白石南公園」を開催する予定ですので、皆さん是非遊びに来て下さい。

取材担当：鈴木



「それキック」



みんなで雪中すもう



宝は、どこ?



吹雪の中で会場づくり



人気の坂すべり

白石でっち奉公

平成25年11月18日(月)に「白石でっち奉公」で、東白石中学校の生徒が、白石東まちづくりセンターに来ました。

「白石でっち奉公」は、小・中学校の児童生徒が実際に就労体験する事業として、次代を担う子どもたちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そんな思いから平成13年に、白石区ふるさと会が主催し始まった事業です。

白石東まちづくりセンターには、毎年、東白石中学校の職業体験学習で2年生2名が来ています。



ただ今、ポスター作成中

2名の生徒は、まちづくりセンターの所長さんから、まちづくりセンターの仕事や地域との係わり、町内会の活動や白石東地区のことについて、話を聞いた後、早速、まちづくり協議会主催の「雪であそぼう！at 大谷地小学校」の案内ポスター2枚の作成に取り掛かりました。

経験したことのないポスター作りでしたが、仲の良い二人は、要領よく分担を決め、順調に作業を進め、素晴らしいポスターを作ってくれました。ポスター作成のほか、町内会回覧のチラシの仕分けの作業も手伝ってくれました。ありがとうございました。

取材担当：蠣崎



当日会場に張ったポスター

秋の移動天文台

平成25年10月6日に青少年育成委員会主催の文化的行事「秋の移動天文台」を午後7時30分より大谷地小学校のグラウンドを会場に行いました。青少年育成委員会にとって青少年科学館と連携しての行事は初めてのことであり、また夜間の行事ということで子どもたちの安全面に対する配慮や曇天を含め悪天候時の対応等、計画段階から緊張することが多々ありましたが、当日は、前日までの悪天候がうそのように晴れ、開始時刻には全天雲ひとつない好条件に恵まれ実施することができました。

子ども52名、大人70名の参加者は、移動用小型望遠鏡(口径10cm)6台と天文台用大型望遠鏡(口径25cm)1台で見る星をそれぞれ順番で見て回りましたが、夏や秋の代表的な星座である、はくちょう座・こと座・わし座とそ中で輝く、デネブ・アルタイル・ベガを初め、天の川や素人ではなかなか見つけられない二重星など、天文指導員の解説と共に1時間半にわたって楽しみました。

「ぼく、星を見るのが大好きなの。楽しみにしていたんだよ。」という子どもの声や予想を超えた参加申込に、潜在的には星空にロマンをかき立てられる人が多いことがわかりました。市街地ではなく郊外の満天の星の下で観望できたらと思わずにはいられませんでした。

会場を提供してくださった大谷地小学校様ありがとうございました。

取材担当：川守田



移動天文車オリオン2世号



輝く星は？

北海道社会貢献賞受賞

3月5日(水)に、北海道石狩振興局において、北海道社会貢献賞の表彰伝達式があり、白石東地区町内会連合会の板垣会長、杉浦副会長、長井副会長が出席し、石狩振興局長から板垣会長に表彰状が手渡されました。

この賞は、白石東地区町内会連合会が東白石地区町内会連合会から独立する以前の、昭和61年から「身近な川をきれいに」を合言葉に、毎年、月寒川の河川清掃を行ってきており、この永きにわたる河川清掃活動を取組んできたことが評価され、贈られたものであります。

地域の皆さんで活動を続けてきた証です。これからも河川愛護の意識をもって、河川美化活動の取組を続けていきたいと思ひます。



取材担当：杉浦

子どもかるた大会

2月2日(日)に「子どもかるた大会」が白石東会館で青少年育成委員会主催、町内会連合会・社会福祉協議会後援で開催されました。各町内会から小・中学生がチームを組み、8チーム44名の子どもたちが参加し、百人一首の「下の句かるた」を楽しみました。

8チームが4チームずつ2ブロックに分かれ、各ブロックでリーグ戦を行い、各ブロック1位同士が優勝決定戦、2位同士が3位決定戦を行いました。その結果、優勝は南郷の杜の「南杜キャット」チーム、準優勝は柏町内会の「柏・嵐」チーム、第3位は大谷地第二町内会の「あまつかぜ」チームでした。

この大会に向けて2回の練習会を行い、ルールやマナーを確認して当日を迎えましたが、当日は、練習会では見られなかった真剣な表情で札に向かい、ピンと張り詰めた緊張感あふれる会場の雰囲気でした。



真剣勝負、次の札は？

特に、優勝決定戦は、最後の一枚の札で勝敗が決するというスリリングな展開で会場を沸かせるほどの熱戦が繰り広げられました。

この大会は、22回目を迎え歴史ある大会へと発展してきましたが、ここ数年参加チームの減少傾向が続いております。

北海道伝来の「下の句かるた」は、小さな子どもから楽しめる伝統の遊びとして、子どもたちに受け継いでほしいと願っています。

ご来賓として出席していただいた町内会長の皆様、運営にご協力いただきました読み手の方、チームの責任者の方、そして応援していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

取材担当：鈴木



熱気に満ちた試合会場



熱戦のあとの美味しい昼食

第3回白石東地区「雪あかりのまち」

1月31日(金)に3回目の「白石東地区雪あかりのまち」を実施しました。

このイベントは、北東白石地区で「雪あかりのまち」を実施している北東白石地区まちづくり協議会からの呼びかけで一昨年からはじめたものです。

会場はJR平和駅連絡口(平和通16丁目)付近で、午後5時から7時30分頃までアイスキャンドルを点灯しました。

3回目となる今年は、昨年より多い65個のアイスキャンドルが用意されました。

当日は、午後3時頃からJR平和駅連絡口前の雪山を削ったり雪を積んだりしながら、階段状のステージを作り、アイスキャンドルを並べ、また、バス回転場所付近にも、アイスキャンドルをピラミッド状に積み重ねましたが、昨年より、きれいに出来上がったと思います。



ピラミッドのアイスキャンドル

JR平和駅を利用する方々や地域の方々は、アイスキャンドルの灯火で彩られた幻想的風景を足を止めて眺めていました。また、カメラを用意してきて撮影する方もいました。

寒い中、スタッフとして携わっていただいた地域の皆さん、ありがとうございました。

取材担当：長井



ステージに並んだアイスキャンドル